



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 9845 URL <https://www.parkercorp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 嘉重
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部長 (氏名) 橋本 一徳 TEL 03-5644-0600
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	51,540	19.2	3,650	30.0	3,909	30.2	2,798	41.4
2023年3月期第3四半期	43,235	18.0	2,808	37.9	3,003	26.9	1,979	64.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,292百万円 (18.2%) 2023年3月期第3四半期 4,475百万円 (155.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	111.89	—
2023年3月期第3四半期	79.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	68,889	43,810	59.6
2023年3月期	60,160	39,044	60.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 41,062百万円 2023年3月期 36,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2024年3月期	—	11.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	21.5	4,400	20.4	4,800	26.0	3,300	33.1	131.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 3社（PARKER AMERICAS INC.（アメリカ）・PARKER AMERICAS de MEXICO S. de R. L. de C. V.（メキシコ）・天津コンフォート自動車部品製造有限公司（中国））、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	26,801,452株	2023年3月期	26,801,452株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,786,465株	2023年3月期	1,791,665株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	25,012,907株	2023年3月期3Q	25,040,577株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外向け輸出の減少や物価上昇の影響により一部には弱い動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、個人消費や設備投資など国内内需が幅広い分野におきまして景気は緩やかな回復の動きで推移しました。一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格や原材料の高騰、円安による物価上昇に加え、中国経済の停滞、中東地域をめぐる情勢及び世界的な金融引き締めの影響などによる海外景気の減速懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力の取引先である自動車業界は日本国内では半導体供給制限の緩和により、自動車の生産台数は増加しておりますが、当社の主力市場である中国では経済の減速に伴う自動車販売の不振により業績が悪化しております。

このような状況のもと当社グループは、社会情勢の変化や需要を的確に捉え、将来を見据えた幅広い視野を持ち、高い付加価値が込められた製品を提案すること、そのような付加価値を創出する「コト作り」に注力した製品開発に繋げ、更に高いレベルでの技術サービスの提供とグローバル化を推進し、M&Aによる事業領域の拡大など、持続的な成長と顧客の信頼を獲得するよう努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は51,540百万円（前年同期比19.2%増）、営業利益は3,650百万円（同30.0%増）、経常利益は3,909百万円（同30.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は事業買収した会社の取得に伴う負ののれん発生益834百万円と中国市場環境の著しい悪化に伴い、中国子会社の有形固定資産の減損損失672百万円を計上したことにより、2,798百万円（同41.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

国内の機械輸入販売は円安と欧州からの船積み遅延の影響を受けましたが、堅調に推移しております。自動車業界向け設備は海外向け設備の検収等により増収増益となりました。

当部門の売上高は、1,878百万円（同1.4%増）、営業利益56百万円（同2,396.7%増）となりました。

・化成部品部門

自動車業界向けの製造販売は、国内におきましては半導体の供給制限が緩和され自動車生産台数が増加したことにより増収増益となりました。一方、主力市場である中国では得意先の生産台数減の影響もあり、業績が悪化しております。

当部門の売上高は23,038百万円（同44.1%増）、営業利益は1,137百万円（同60.8%増）となりました。

・化学品部門

国内外市場向けの一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売は、国内の経済の正常化に伴い、鉄鋼関連の売上は堅調に推移し、新規の設備の検収完了もあり増収増益となりました。

当部門の売上高は5,060百万円（同7.3%増）、営業利益は215百万円（同63.7%増）となりました。

・産業用素材部門

自動車用防音材の製造販売は、国内におきまして半導体の供給制限の緩和により自動車生産台数が増加したことにより増収増益となりました。家電用防音材の製造販売は、前期にありました上海ロックダウンの影響がなくなりましたが、在庫調整等の影響により低調に推移しました。

当部門の売上高は14,053百万円（同12.1%増）、営業利益は1,434百万円（同26.2%増）となりました。

・化工品部門

国内外ファインケミカルの製造販売は、電子デバイスの需要低迷による部材在庫調整等の影響を受け減収となりました。一方、国内カーケア並びに産業用ケミカルの製造販売は社会経済活動の正常化により需要増加、また医薬品向け乾燥剤の製造販売はジェネリック薬品の需要増加等により増収となりました。

当部門の売上高は5,050百万円(同7.1%増)、営業利益は640百万円(同19.6%増)となりました。

・その他部門

その他部門は主に化学原料の輸出入が減少したことにより減収減益となりました。

当部門の売上高は2,458百万円(同28.3%減)、営業利益は165百万円(同43.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産合計は、新規連結企業の影響もあり前連結会計年度末と比べ8,728百万円増加し、68,889百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少(545百万円)がありましたが、受取手形及び売掛金の増加(3,576百万円)、原材料高騰による商品及び製品の増加(529百万円)、原材料及び貯蔵品の増加(897百万円)、流動資産のその他の増加(1,947百万円)、主に新規連結等による有形固定資産の増加(1,460百万円)によるものです。

負債合計は新規連結企業の影響もあり前連結会計年度末と比べ3,961百万円増加し、25,078百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加(2,009百万円)、流動負債のその他の増加(1,340百万円)、固定負債のリース債務の増加(765百万円)によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ4,766百万円増加し、43,810百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(2,298百万円)、為替換算調整勘定の増加(1,689百万円)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しについては、当第3四半期連結累計期間の実績等を考慮し、2023年8月7日に公表した通期の業績予想を修正しました。詳細については、本日公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,002	17,457
受取手形及び売掛金	13,491	17,067
有価証券	14	11
商品及び製品	4,343	4,872
仕掛品	462	584
原材料及び貯蔵品	2,322	3,219
その他	986	2,933
貸倒引当金	△9	△87
流動資産合計	39,613	46,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,054	11,497
減価償却累計額	△6,316	△7,740
建物及び構築物(純額)	3,738	3,756
機械装置及び運搬具	9,058	11,004
減価償却累計額	△7,177	△9,345
機械装置及び運搬具(純額)	1,881	1,659
土地	6,473	7,340
リース資産	1,077	2,256
減価償却累計額	△532	△1,174
リース資産(純額)	544	1,082
建設仮勘定	108	666
その他	4,407	4,753
減価償却累計額	△3,486	△4,130
その他(純額)	921	622
有形固定資産合計	13,667	15,128
無形固定資産		
のれん	311	233
借地権	128	179
その他	225	210
無形固定資産合計	665	623
投資その他の資産		
投資有価証券	4,409	5,033
長期貸付金	242	241
繰延税金資産	109	117
その他	1,537	1,771
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	6,213	7,078
固定資産合計	20,547	22,830
資産合計	60,160	68,889

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,569	10,579
短期借入金	2,601	2,399
1年内返済予定の長期借入金	304	276
リース債務	252	311
未払法人税等	768	740
賞与引当金	754	620
その他	2,082	3,422
流動負債合計	15,332	18,350
固定負債		
長期借入金	2,027	1,863
リース債務	347	1,113
繰延税金負債	1,272	1,510
役員退職慰労引当金	134	133
退職給付に係る負債	1,897	1,986
資産除去債務	24	32
その他	80	89
固定負債合計	5,784	6,727
負債合計	21,116	25,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,517	2,518
利益剰余金	28,419	30,718
自己株式	△650	△648
株主資本合計	32,487	34,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,949	2,334
繰延ヘッジ損益	△42	△1
為替換算調整勘定	2,251	3,940
その他の包括利益累計額合計	4,158	6,273
非支配株主持分	2,398	2,747
純資産合計	39,044	43,810
負債純資産合計	60,160	68,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	43,235	51,540
売上原価	33,044	39,109
売上総利益	10,191	12,431
販売費及び一般管理費	7,383	8,780
営業利益	2,808	3,650
営業外収益		
受取利息	46	87
受取配当金	133	123
為替差益	—	41
持分法による投資利益	58	46
その他	75	128
営業外収益合計	313	427
営業外費用		
支払利息	58	89
為替差損	39	—
税額控除外源泉税	—	36
その他	20	42
営業外費用合計	118	168
経常利益	3,003	3,909
特別利益		
固定資産売却益	8	10
負ののれん発生益	—	834
特別利益合計	8	844
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	1	1
投資有価証券評価損	12	—
減損損失	—	672
特別損失合計	17	673
税金等調整前四半期純利益	2,994	4,080
法人税等	770	1,052
四半期純利益	2,224	3,028
非支配株主に帰属する四半期純利益	245	229
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,979	2,798

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,224	3,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	310
繰延ヘッジ損益	△13	40
為替換算調整勘定	2,176	1,769
持分法適用会社に対する持分相当額	97	143
その他の包括利益合計	2,251	2,264
四半期包括利益	4,475	5,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,029	4,914
非支配株主に係る四半期包括利益	446	378

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用し、繰延税金資産の回収可能性を検討のうえ計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	1,471	7,488	3,613	6,738	3,918	23,231	1,799	25,030	—	25,030
海外	382	8,499	1,102	5,793	796	16,574	1,630	18,204	—	18,204
顧客との契約から生じる収益	1,853	15,988	4,716	12,532	4,715	39,806	3,429	43,235	—	43,235
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	1,853	15,988	4,716	12,532	4,715	39,806	3,429	43,235	—	43,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	110	62	4	0	192	842	1,034	△1,034	—
計	1,866	16,099	4,778	12,537	4,716	39,998	4,271	44,270	△1,034	43,235
セグメント利益	2	707	131	1,136	535	2,513	294	2,808	—	2,808

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	1,562	9,908	3,849	8,182	4,270	27,773	1,582	29,356	—	29,356
海外	316	13,130	1,210	5,870	779	21,308	876	22,184	—	22,184
顧客との契約から生じる収益	1,878	23,038	5,060	14,053	5,050	49,082	2,458	51,540	—	51,540
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	1,878	23,038	5,060	14,053	5,050	49,082	2,458	51,540	—	51,540
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	71	60	8	1	164	830	995	△995	—
計	1,901	23,109	5,120	14,062	5,052	49,246	3,289	52,536	△995	51,540
セグメント利益	56	1,137	215	1,434	640	3,485	165	3,650	—	3,650

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化成品部門」セグメントにおいて中国子会社の主に自動車用材料製造設備が、経営環境の悪化により収益性が低下したことにより、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額であるゼロまで減額したことにより特別損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては672百万円であります。